

0980 | プロダクトデザイン I

4 単位（通信授業 2 単位、面接授業 2 単位）

田中克明教授、福田弘講師、河村要講師、桜井隆樹講師、萩原千春講師

授業の概要と目標

プロダクトデザインでは、求められる要件に対してテーマ設定をおこない、目標と計画とイメージを概念として組み立て、さらにイメージした概念を他者が経験できるように、機能と用途を根幹とした具体的な形態としなければならない。「プロダクトデザイン I」では、イメージした概念を具体化するプロセスで行うスケッチ表現、図面表現、モデル等の様々な表現について、それぞれの役割を学習し、その表現方法の基礎スキルの修得を目標とする。

課題の概要

- 通信授業課題 1 [遠近法による立体造形の表現]
基本形態とそのバリエーション形態を遠近法（簡易透視図法）に則り、フリーハンドスケッチで表現する。
 - 予習課題 [花器のイメージカラーージュの作成 / 「花を愛でる器」のデザイン案の作成]
ライフスタイルイメージカラーージュの作成と、「花を愛でる器」のデザイン案スケッチ及び概略図面の作成。
 - 面接授業課題 [感性語から造形をイメージする / モデル制作]
予習課題を基に、「花を愛でる器」のデザインと発泡ウレタンによるモデルを制作する。
 - 通信授業課題 2 [デザイン製図基礎 / 立体の基本形と三面図の表現]
基本形態の組み合わせによる造形展開を行い、スケッチと図面で表現する。
- *詳細は学習指導書『プロダクトデザイン I・II 平成 29 年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業 1]

・透視図法の簡易的な表現方法を理解し、様々な視点で基本形態をフリーハンドスケッチで表現する手法を学習する。

[予習課題] *スクリーニング時に持参すること。

・花器のデザインイメージを言語イメージスケールから言葉を選びライフスタイルイメージカラーージュを作成する。

・「花を愛でる器」のデザインとモデル制作のためのアイデアスケッチと概略図面を作成する。

[面接授業]

・予習課題のデザイン案スケッチを基に発泡ウレタンでラフイメージモデルを制作してから決定モデルの制作を行う。

第 1 日 前提講義、課題説明、予習課題発表、ラフイメージモデル制作

第 2 日 ラフイメージモデル制作、決定モデル制作用概略三面図の作図

第 3 日 モデル制作

第 4 日 モデル制作、プレゼンテーション、講評

OLP オンラインプラス [準備] 一面接授業事前説明動画配信

Web キャンパス学生メニューの【動画視聴】にて面接授業の事前説明動画を配信する。

・オンラインプラス [準備] では、面接授業を受講する前の学習として、プロダクトデザインとしての立体造形の基本要素と感性に応える造形イメージの創作について解説する。

[通信授業 2]

・図面を模写し、デザイン製図の基礎的表現方法を学習する。

・基本形態の組み合わせによる造形展開を行い、スケッチと図面で表現する。

成績評価の方法

通信授業と面接授業の総合評価とする。

履修条件及び履修年次	<p>[履修年次] 1年次</p> <p>[履修条件] なし</p> <p>[備考] 工芸工業デザイン学科 生活環境デザインコース指定科目。 生活環境デザインコース進学希望者は1年次に履修する事（2年次編入学生は2年次）。 生活環境デザインコース3年次編入学生は必修ではないが、履修することが望ましい。 オンラインプラス（Web上で行う面接授業補助プログラム）を受講する場合は、インターネットに接続できる環境が必要となる。</p>
教材等	<p>教科書：横溝健志、田中克明他『プロダクトデザイン』（武蔵野美術大学出版局 2002年） 横溝健志、小石新八編『ドローイング・モデリング』（武蔵野美術大学出版局 2002年） 田中克明監修『プロダクトデザインの発想』（武蔵野美術大学出版局 2006年）</p> <p>学習指導書：『プロダクトデザインI・II 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）</p>
その他	<ul style="list-style-type: none">・面接授業には教科書『ドローイング・モデリング』と『学習指導書』を必ず持参すること。・面接授業において、立体造形のための素材として発泡ウレタンを使用するので、化学物質に対するアレルギーがある学生は、その旨、承知した上で研究室に申し出ておくこと。・面接授業の作業に際し、発泡ウレタンの細かい粉末で汚れても構わない服装を考慮すること。